

# 柔道

- 1 主催 長崎県高等学校体育連盟 長崎県教育委員会
- 2 後援 長崎県 (公財)長崎県スポーツ協会 諫早市 諫早市教育委員会  
長崎県柔道協会 諫早市柔道協会
- 3 主管 長崎県高等学校体育連盟柔道競技専門部
- 4 期日 令和8年6月6日(土)6月7日(日) 開場8:30~  
6月6日(土)審判監督会議 9:30 団体戦10:15  
個人計量 団体戦終了後  
6月7日(日)審判監督会議 9:30 個人戦10:00
- 5 会場 諫早市小野体育館(諫早市)
- 6 参加資格 大会実施要項による。
- 7 参加申込 大会実施要項による。
- 8 競技方法 (1)大会実施要項による。  
(2)団体試合予選リーグ通過チームにより、決勝トーナメントを行う。  
※女子団体試合の参加校が11校以下の場合はトーナメント試合後、上位4校によるリーグ戦を行い、順位をつける。  
(3)個人試合体重別で男女ともトーナメント方式とする。  
(4)シード団体・個人とも県新人体育大会のベスト8をシードとする。  
※参加数が団体11校以下個人15名以下はこの限りではない。
- 9 参加制限 (1)団体試合(男子) 監督1名、選手5名、補欠2名  
3名もしくは4名の場合は、選手配列は後ろ詰めとする。  
(2)個人試合(男子) 60kg級・66kg級・73kg級・81kg級  
90kg級・100kg級・100kg超級  
(3)団体試合(女子) 監督1名、選手3名、補欠1名  
2名の場合は、選手配列は後ろ詰めとする。  
(4)個人試合(女子) 48kg級・52kg級・57kg級・63kg級  
70kg級・78kg級・78kg超級  
(5)個人試合出場人数 同階級の出場は4名までとし14名以内出場することができる。但し、県新人大会各階級3位入賞者はこの最大14名に含めない。  
(6)外国人留学生について 団体男・女共1名以内は認める。  
個人参加は制限しない。
- 10 競技規則 (1)試合は国際柔道連盟試合審判規定(2025-2028 審判規程変更点)による。  
(2)県高体連柔道専門部申し合わせ・確認事項  
①団体試合

- ア 試合時間は全て4分とする。ゴールデンスコアは時間無制限とする。
- イ 優勢勝ちの判定基準は、「有効」又は「僅差」以上とする。但し、僅差は「指導」差が2とする。チームの内容が同等な場合は、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦で得点差がない場合は、個人試合に準じた判定基準で延長戦（ゴールデンスコア）を実施し、勝敗を決する。（技の効果、指導1リードで勝ちとする）
- ウ リーグ戦における順位は、3勝・2勝1分・2勝1敗・1勝2分・1勝1敗1分・1勝2敗・3分・1敗2分・2敗1分・3敗の順とする。
- エ ウで同等の場合は、リーグ戦を通じ勝ち数の多いチームを上位とする。
- オ エで勝ち数の同じ場合は、「一本」「反則勝ち」による勝ち数の多いチームを上位とする。
- カ オで同等の場合は、「技有」による勝ち数の多いチームを上位とする。
- キ カで同等の場合は、「有効」による勝ち数の多いチームを上位とする。
- ク キで同等の場合は、負け数の少ないチームを上位とする。
- ケ クで同等の場合は、「一本」「反則勝ち」による負け数の少ないチームを上位とする。
- コ ケで同等の場合は、「技有」による負け数の少ないチームを上位とする。
- サ コで同等の場合は、「僅差」による負け数の少ないチームを上位とする。
- シ サで同等の場合は、「有効」による負け数の少ないチームを上位とする。
- ス シで同等の場合は、「僅差」による負け数の少ないチームを上位とする。
- セ スで同等の場合は、チームから任意に選出して代表戦を行う。

## ②個人試合

- ア 試合時間は全て4分とする。
- イ 優勢勝ちの判定基準は、「有効」又は「僅差」以上とする。但し、僅差は「指導」差が2とする。技による評価が同等の場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。（技の効果、指導1リードで勝ちとする）
- ウ 「技の内容」と「指導」の重み  
一本勝ち＝反則勝ち＞技有＞有効＞僅差の順とする。

- 11 表彰大会 大会実施要項による。
- 12 抽選会 大会実施要項による。
- 13 体重測定 個人計量は6月6日（土）団体戦終了後実施  
開始から1時間までに計量をパスしない者は出場できない。
- 14 その他
  - (1) 男・女団体優勝チーム及び個人戦各階級優勝者は全国高等学校総合体育大会の出場権を得る。
  - (2) 男・女団体優勝チーム・2位チーム及び個人男女各階級優勝者・2位者は全九州高等学校体育大会の出場権を得る。
  - (3) 会場や観覧席を汚さないように、各校は責任をもって処理すること。
  - (4) 原則として個人戦に出場する生徒も開会式に参加すること。
  - (5) 試合場での練習時間は、開場から審判監督会議までとする。